

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」名古屋校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員又は保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		カーテン等でスペースを仕切り、個室で集中できるようにしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		毎日清掃を行い、清潔に保っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		毎日職員参加のミーティングを実施しています。目標設定を行い、各自担当を持って実施しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者様へ事業所評価アンケートを実施し、業務改善につなげています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		当社ホームページにて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現在は利用者・社内の二者評価をとっております。第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討いたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		初任者研修を行なうとともに、月に1回、外部講師による勉強会を行っています。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。	

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したアセスメントシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、個別支援計画を策定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画に沿って活動プログラムを組み、支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		お子様の事例を共有し、議論するケース検討会を開催し、活動プログラムの立案を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様一人ひとりの特性や興味に合わせて、効果的に楽しく学べるプログラムになるよう工夫しています。お子様が自発的に適切な行動をとったり、学びやすい環境を作ったりしています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している		○	集団活動については現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討いたします。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝礼を実施し、職員間での情報共有を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングを随時実施し、職員間での情報共有を行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回指導記録をとり見直すことで、お子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		適切な時期にモニタリング、会議を行い、見直しの必要性を検討しています。	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画の提示面談時に説明し、同意を得ています。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		開校日等の都合上、保護者会等は開催していませんが、ご要望に応じて検討していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		いただいた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切な対応を心掛けています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		教室外、廊下等に活動内容やイベントのご案内を掲示しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様、保護者様の状態に応じて、意思疎通や情報の伝達ができるように配慮しています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		個人情報等に配慮しつつ、指導の様子を公開したり、教室開放の時間を設けることも検討していきます。
非常時等の	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月1回の防災訓練を実施しています。	

対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントにて確認しています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		対象のお子様については、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、報告書を作成・保管し、情報共有と対策を行っています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のマニュアルを作成し、研修を実施しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束が必要な場合は個別支援計画に記載した上で説明、了承をいただきます。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」名古屋校 保護者等数（児童数）：1 回収数：1 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	1					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			1			地域交流については、限られた指導時間の中での交流が難しいことから、現在実施しておりません。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	1					

明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか			1			必要に応じて、支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスしています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか			1			主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1			開校日等の都合上、保護者会等は開催していませんが、ご要望に応じて検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか			1			教室外、廊下等に活動内容やイベントのご案内を掲示しています。また、自己評価の結果もホームページにて公開しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	1					
	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか			1			各マニュアルを策定し、研修を実施しています。
非常時等の対応	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1					
	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	1					
満足度	㉑	事業所の支援に満足しているか	1					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。